

【技術分類】 1 1－2－3 自動車サスペンションシステム／車軸懸架式／ドディオン式

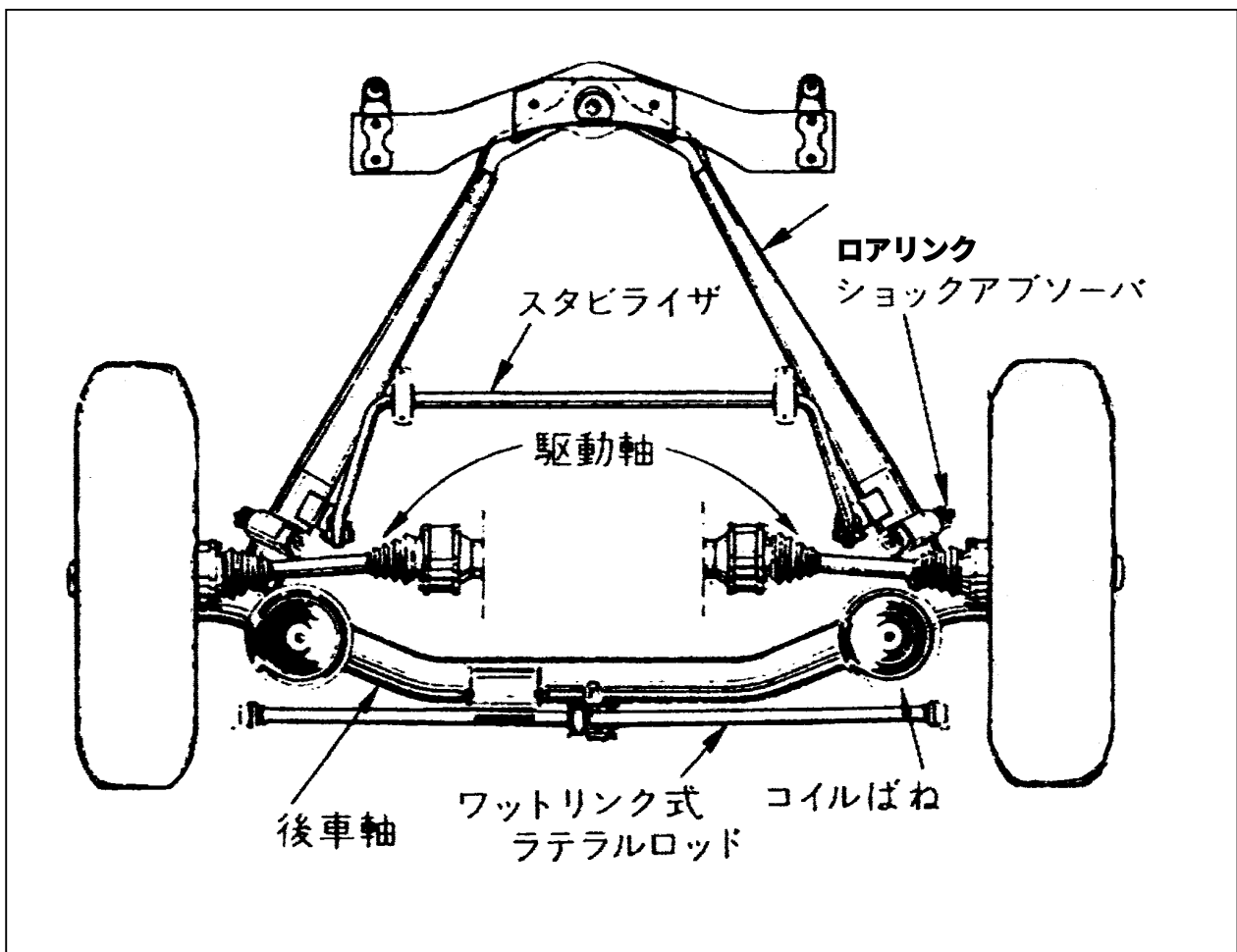
【 F I 】 B60G 9/04、B60G 7/00

【技術名称】 1 1－2－3－1 ドディオン式

【技術内容】

FR 方式の車軸懸架リヤサスペンションにおいては、一般にデフギアは車軸に取り付けられており、バネ下重量が増加し乗り心地が悪くなる。ドディオン式はバネ下重量の軽減をはかるため、デフギアケースを車体にマウントしたものである。これにより、乗り心地と接地性が向上すると共にプロペラシャフトの上下動がなくなるため、フロアを低くできる。下図はドディオン式車軸懸架サスペンションの例で、左右の車輪はドディオンチューブと呼ばれる車軸に取り付けられているが、デフケースは車体にマウントされている。ドディオン式は乗用車に採用されたこともあったが、コスト高でもあり、現在は用いられていない。

【図】 ドディオン式



出典：「カーグラフィック」(1979.7)、二弦社発行、頁 99、アルファ 6

「新編自動車工学便覧第 5 編」、(1982/11/26)、自動車技術会編著、自動車技術会発行
頁 4-6-図 4-11

【出典／参考資料】

「カーグラフィック」(1979.7)、二弦社発行

「新編自動車工学便覧第 5 編」、(1982/11/26)、自動車技術会編著、自動車技術会発行